

工芸の力 - 21世紀の展望

開館 30 周年記念展

2007/12/14

2008/2/17

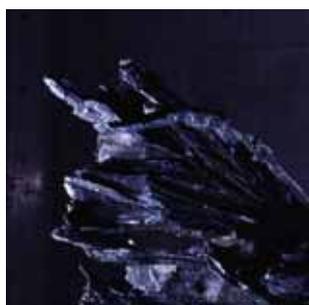
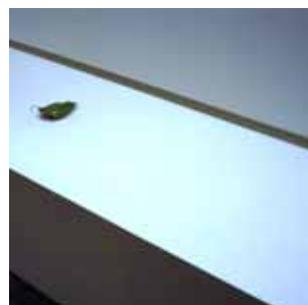
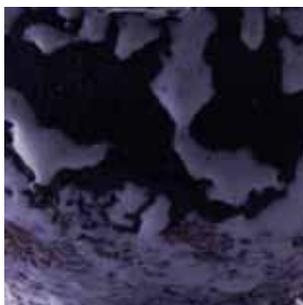


東京国立近代美術館
工芸館

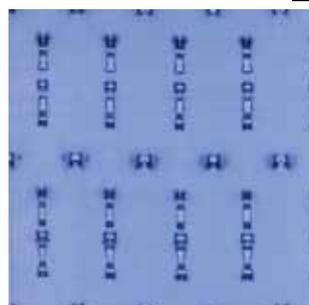
〒102-0091
東京都千代田区
北の丸公園 1-1



Crafts Gallery,
the National
Museum of
Modern Art,
Tokyo



広報担当
cg-pr@momat.go.jp



現代の工芸は、長い歴史と伝統をふまつつも、時代や社会の変化、さらには既存の造形芸術の影響を受けながら、工芸としての自立と拡張を目指して発展してきました。陶、ガラス、染織、漆、金属などの、いわゆる工芸の素材を出発点とした、その素材でしかつくり出すことができない造形世界を生み出す活動は、工芸の本質をあらためて問うとともに、さまざまな造形分野からも高い関心が寄せられています。

こうした工芸的なアプローチによる造形手法を「工芸的造形」と呼びますが、近年その活動はこれまでの工芸や美術の枠ではくくることのできない、その中間的な領域の作品を生み出し、新たな世界を構築しつつあります。それはまさに「工芸の力」であり、広い意味での現代美術を読み解くひとつのキーワードとして、これからの造形の世界でさらに注目されていくと思われます。

開館 30 周年を迎えた記念展 では、こうした新しい造形を生み出す 14 名の作家の活動を通して 21 世紀の工芸世界を展望するとともに、その造形世界の魅力を紹介します。

出品作家

猪倉高志、北川宏人、北村武資、塩谷良太、須田悦弘、高橋禎彦、高見澤英子、田口善明、中島晴美、橋本真之、福本潮子、前田昭博、三輪壽雪、留守玲(50音順)

CHECK!

今展の出品作家も、陶をはじめ、染織、ガラス、漆、金属など、一般的に工芸作家が広く用いる素材を作品制作に用いていますが、生み出される作品は、「生活の用具としての機能」や「装飾」といった、工芸に託されてきた要素にプラスして、鑑賞性や象徴性に重きが置かれています。例えば、従来のものと同じ「器」という形をしていても、その違いは一目で理解することができるはずです。

CHECK!

工芸は、素材と技術が密接に結びつくことで、その素材でしかつくりだすことができない造形を生みます。伝統的な工芸のさまざまな方式を作者なりに組み替えたり、時々に変化する心情を素材の特性と結びつけながら、その上にいくつもの表現の層を組み上げたり…。約 80 点におよぶ出品作品にはこのような工芸的な造形のアプローチが試みられています。

CHECK!

私たちが日常的に使っている「工芸」や「美術」という言葉は、明治時代に西欧の芸術思想とともに伝わった概念で、歴史は意外に短いのです。今展を通して、「工芸」とは？あるいは「美術」とは？を改めて考えることにより、工芸的な造形の意義を考えます。

CHECK!

14 名の作家は、1978 年生まれの 20 代後半から、1910 年生まれの 97 歳までと、年齢の幅が広いですが、出品される作品は、その差を感じさせない現代に根ざしたものばかりです。

タイトル	開館 30 周年記念展 II 工芸の力 -21 世紀の展望
	The Crafts Gallery 30th Anniversary Exhibition II
	The Power of Crafts: Outlook for the 21st Century
会期	2007 年 12 月 14 日(金)～2008 年 2 月 17 日(日)
開館時間	午前 10 時～午後 5 時 *入館は閉館 30 分前まで
休館日	毎週月曜日(ただし 12 月 24 日、1 月 14 日、2 月 11 日は開館し、各翌日休館)、年末年始(12 月 29 日～1 月 1 日)
主催	東京国立近代美術館
会場 (アクセス)	東京国立近代美術館工芸館 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 1-1
	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b 出口 徒歩 8 分
	東京メトロ東西線/半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」2 番出口 徒歩 12 分
観覧料	一般 300(150)円 大学生 180(90)円 高校生 90(50)円
	12 月 2 日までは、記念展 I とセットになったお得な共通チケットも発売中！
	*中学生以下、65 歳以上、MOMAT パスポート、キャンパスメンバーズ、障害者手帳などをお持ちの方(付添者は原則 1 名まで)は無料です。
	* ()内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込。 *割引・無料には学生証、障害者手帳などの提示が必要です。
	美術館(徒歩 5 分)の各展示会もご覧になる場合には、共通チケットがあります(有効期間 1 日)。詳細はチケット売り場でお尋ねください。
無料観覧日	1 月 2 日(水)、1 月 6 日(日)、2 月 3 日(日)
お問合せ先(掲載用)	03-5777-8600 (ハローダイヤル) または http://www.momat.go.jp/
トークイベント (出品作家×研究員の対談)	2007 年 12 月 16 日(日) 午後 2 時～ 前田昭博×今井陽子 2008 年 1 月 13 日(日) 午後 2 時～ 北川宏人×金子賢治 1 月 20 日(日) 午後 2 時～ 橋本真之×唐澤昌宏 2 月 3 日(日) 午後 2 時～ 留守玲×北村仁美 *参加無料(ただし、展示会チケットが必要です) 出品作家 4 名については、P.4～6 もご覧ください。
タッチ&トーク (ボランティアによるガイド)	会場でのトークと、参考作品や制作工程等を手にとる<さわってみようコーナー>とでご案内します。 毎週水・土曜日 午後 2 時～ *参加無料(ただし、展示会チケットが必要です) タッチ&トークの詳細は、 http://www.momat.go.jp/CG/touch_talk/index.html
プレゼント	展示会をご紹介いただける場合には、読者プレゼント用チケットをご用意します。
プレス内見会・発表会	12 月 13 日(木)PM 予定。事前に広報担当までお申し込みください。

1910 年に建築された近衛師団司令部庁舎は、1972 年国の重要文化財の指定を受けました。その後 5 年をかけて、保存修復工事と、展示や収蔵のための改装が施され、1977 年 11 月 15 日、近代美術の工芸部門を専門とする「工芸館」として生まれ変わりました。その 30 年を振り返った「工芸館 30 年のあゆみ」展につづく、記念展第 弾は、これからの工芸がテーマです。



猪倉 高志 (いくら たかし)

1962年岐阜県生まれ
1989年多治見市陶磁器意匠研究所修了
1990年「朝日現代クラフト展」入選
2001年「高岡クラフトコンペ」入選
2004年「土から陶へ」の造形展・Part1：美濃」（ギャラリー目黒陶芸館、三重）
2006年「やきものの現在」展（ギャラリーヴォイス、岐阜）

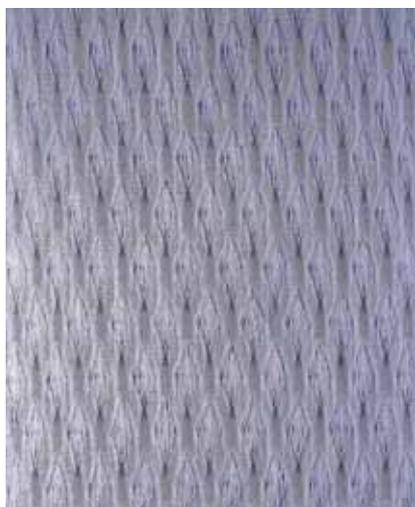
1.《立体の水 07-11》2007年
半磁土

北川 宏人 (きたがわ ひろと)

1967年滋賀県生まれ
1989年金沢美術工芸大学卒業
1998年カラーラ・アカデミア美術学院彫刻科卒業
2003年「NICA F」展（東京国際フォーラム、東京）
2005年「もうひとつの楽園」展（金沢21世紀美術館）

>>2008年1月13日トークイベント！

2.《TU07005 - スキンヘッド（部分）》2007年
陶土、彩色



北村 武資 (きたむら たけし)

1935年京都府生まれ
1951年中学校を卒業、京都西陣で製織業に従事
1965年「第12回日本伝統工芸展」初出品
1995年重要無形文化財「羅」の保持者に認定
2000年重要無形文化財「経錦」の保持者に認定
2001年「人間国宝 北村武資」展（群馬県立近代美術館）

3.《浅黄地透文羅裂地》1996年*
（あさぎじとうもんらきれじ）
絹、羅



塩谷 良太 (しおや りょうた)

1978年東京都生まれ
2003年多摩美術大学卒業
2004年「第7回岡本太郎記念現代芸術大賞展」出品
グループ展（exhibit LIVE[laiiv]、東京）
2005年筑波大学大学院芸術研究科修了
2007年個展（貸しはらっぱ音地・gallery 韋駄天、東京）

4.《Ceramic Clip 007》2005年
陶土

須田 悦弘 (すだ よしひろ)

1969年山梨県生まれ
1992年多摩美術大学卒業
1993年個展（銀座1-4丁目パーキングメーター、東京）
2005年「アジアの潜在力」展（愛知県美術館）
2006年「須田悦弘展」（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館）
「三つの個展」（国立国際美術館）

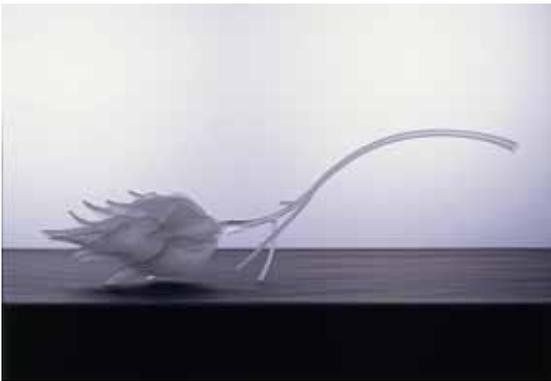
5.《葉》2007年
木彫、彩色





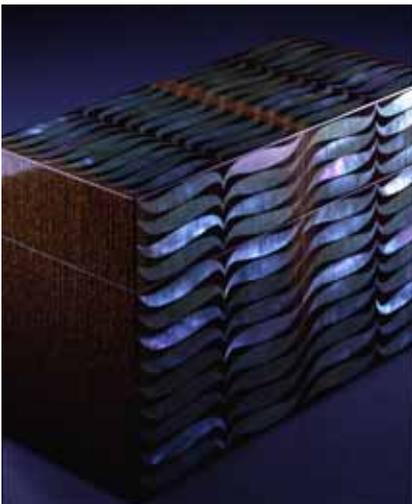
高橋 禎彦 (たかはし よしひこ)
 1958年東京都生まれ
 1980年多摩美術大学卒業
 1982年グラスハウス・アム・ヴァサートゥルム工房(ドイツ)で制作
 1994年「世界現代ガラス展」優秀賞受賞
 2004年「非情のオブジェ：現代工芸の11人」展(当館)

6.《WG-0》1986年*
 ガラス、真鍮、宙吹き、色被せ、接着



高見澤 英子 (たかみざわ ひでこ)
 1969年埼玉県生まれ
 1993年多摩美術大学卒業
 1995年バーナーワークの仕事始める
 1999年個展(taギャラリー、東京)
 2004年「非情のオブジェ：現代工芸の11人」展(当館)

7.《Flower Shell》2004年
 ガラス、バーナーワーク



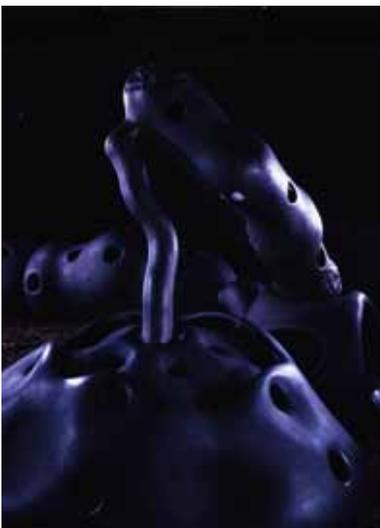
田口 善明 (たぐち よしあき)
 1958年埼玉県生まれ
 1985年「第32回日本伝統工芸展」初入選
 1993年「第40回日本伝統工芸展」日本工芸会奨励賞受賞
 1996年「第43回日本伝統工芸展」東京都知事賞受賞
 1997年「第44回日本伝統工芸展」日本工芸会奨励賞受賞
 2002年「現代日本工芸展」(マレーシア・インドネシア)

8.《青貝蒔絵飾箱「緑葉」》1989年
 (あおがい まきえ かざりばこ りょくよう)
 漆、蒔絵、螺鈿



中島 晴美 (なかしま はるみ)
 1950年岐阜県生まれ
 1973年大阪芸術大学卒業
 1996年「現代陶芸の若き旗手たち」展(愛知県陶磁資料館)
 2002年「現代日本工芸展」(マレーシア・インドネシア)
 2003年個展(ギャラリー目黒陶芸館、三重)

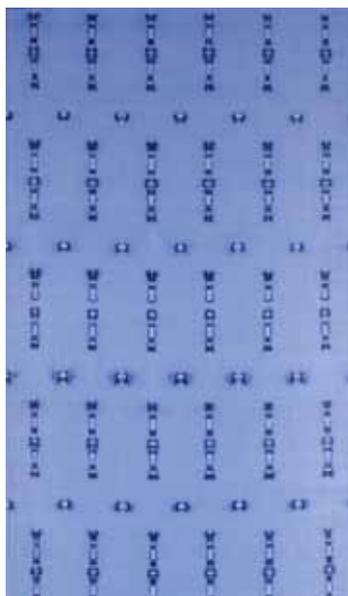
9.《WORK-0405》2004年
 磁土 国立大学法人愛知教育大学蔵



橋本 真之 (はしもと まさゆき)
 1947年埼玉県生まれ
 1970年東京藝術大学卒業
 2002年「現代日本工芸展」(マレーシア・インドネシア)
 2005年「アルス・ノーヴァ」展(東京都現代美術館)
 2007年「<素材×技術>からフォルムへ」展(茨城県つくば美術館)

>>2008年1月20日トークイベント!

10.《果樹園 - 果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実》1978-88年
 銅版、鍛造、熔接



● 福本 潮子（ふくもと しほこ）
 1945 年大阪府生まれ
 1968 年京都市立美術大学卒業
 1987 年「第 13 回国際タピストリー・ビエンナーレ」出品（スイス）
 2005 年個展（オランダ）
 2006 年「日本の工芸」展（イギリス）
 2007 年「<素材×技術>からフォルムへ」展（茨城県つくば美術館）

11. 《藍染折畳縫紋近江本麻着尺》2004 年 *
 （あいぞめ おりたたみぬいもん おうみほんあさ きじゃく）
 麻、藍染



● 前田 昭博（まえた あきひろ）
 1954 年鳥取県生まれ
 1977 年大阪芸術大学卒業
 1997 年「MOA 岡田茂吉賞展」優秀賞受賞
 2003 年「第 50 回日本伝統工芸展」第 50 回展記念賞、「京畿道世界陶磁ビエンナーレ（韓国）」銅賞受賞
 2004 年日本陶磁協会賞受賞

12. 《白瓷面取壺》1996 年 *
 （はくじ めんとり つぼ）
 陶土

>>2007 年 12 月 16 日トークイベント！



● 三輪 壽雪（みわ じゅせつ）
 1910 年山口県生まれ
 1967 年十一代休雪を襲名
 1983 年重要無形文化財「萩焼」の保持者に認定
 2004 年日本陶磁協会賞制定 50 年記念賞受賞
 2006 年「萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界」展（当館他）

13. 《鬼萩割高台茶碗》2006 年 *
 （おにはぎ わりこうだい ちゃわん）
 陶土



● 留守 玲（るす あき）
 1976 年宮城県生まれ
 2000 年多摩美術大学卒業
 2002 年同大大学院美術学部修了
 2003 年個展（コンテンポラリーアート NIKI、東京）
 2007 年「<素材×技術>からフォルムへ」展（茨城県つくば美術館）

14. 《潜熱さしひびき》2003 年
 鉄、熔接

>>2008 年 2 月 3 日トークイベント！

作家名（かな）
 略歴
 《作品名》制作年
 素材・技法
 * 東京国立近代美術館蔵

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当行 >>

写真データ(クレジット) 「No.」に をつけてご送信ください。

No.	作家	作品	Photo by	所蔵	制作年
工芸館建物写真(貸出、撮影)については、個別にご相談ください。					
1	猪倉 高志	立体の水 07-11	Taku Saiki (or 齋城卓)		2007
2	北川 宏人	TU07005・スキンヘッド(部分)	Taku Saiki (or 齋城卓)		2007
3	北村 武資	浅黄地透文羅裂地	Taku Saiki (or 齋城卓)	*	1996
4	塩谷 良太	Ceramic Clip 007	Jun Tamaoki		2005
5	須田 悦弘	葉			2007
6	高橋 禎彦	WG-0	Taku Saiki (or 齋城卓)	*	1986
7	高見澤 英子	Flower Shell	Taku Saiki (or 齋城卓)		2004
8	田口 善明	青貝蒔絵飾箱「緑葉」	Taku Saiki (or 齋城卓)		1989
9	中島 晴美	WORK-0405	Taku Saiki (or 齋城卓)	国立大学法人 愛知教育大学	2004
10	橋本 真之	果樹園・果実の中の木もれ陽、 木もれ陽の中の果実	Taku Saiki (or 齋城卓)		1978-88
11	福本 潮子	藍染折畳縫紋近江本麻着尺	Taku Saiki (or 齋城卓)	*	2004
12	前田 昭博	白瓷面取壺	Taku Saiki (or 齋城卓)	*	1996
13	三輪 壽雪	鬼萩割高台茶碗	Taku Saiki (or 齋城卓)	*	2006
14	留守 玲	潜熟さしひびき	Taku Saiki (or 齋城卓)		2003

* は東京国立近代美術館蔵

展覧会広報にのみご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。

JPG データ以外もご用意できますので、必要な場合はお問合せください。

掲載見本を広報担当へご寄贈くださいましたら幸いです。

ご担当者名 _____ e-mail _____

貴社名 _____

出版物・放送番組・サイト名 _____

(http://www. _____)

掲載予定号・発行日 / 放送・UP 日時 _____

PHONE (_____) FAX (_____)

〒 _____

住所 _____